



令和5年度 スクールプラン

越前町立常磐小学校

越前町の教育目標

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現

◇ 教育目標 共に学び合い、健やかに生きる児童の育成 ～協育・郷育～
小規模校の強みを生かし、自信をもったたくましい児童が育つ学校

◇ 目指す児童像 ○深く考える子(向上心・探求心をもって学ぶ子 いろいろなことに挑戦する子)
○思いやりのある子(誰とも協調できる子 自他を大切にできる子)
○がんばりぬく子(粘り強く取り組む子 心身ともに健やかな子)
◇ 学校の合い言葉 みんなと共に、自分を高めよう チェンジ!チャレンジ

朝日地区小中連携目標

子どもの育ちをつなげよう
～不登校の未然防止を見据えた朝日地区小中連携～

中期重点事項

具体的方策

数値目標

楽しむ学び

<p>◎主体的・対話的で深い学びの授業実践 *自ら学ぶ力、人と関わり学ぶ力の育成 *学びをつなぐカリキュラムマネジメントの実践</p>	<p>・単元を通した明確なめあてを設定する。自分の学び方をふり振り返り、次の学びの意欲づけをする。 ・ひとりで学ぶ場、みんなで学ぶ場を大切に授業を実践する。 ・ICTを活用した学びの実践をする。</p>	<p>・授業が楽しいと答える児童が85%以上 ・授業がよく分かると答える児童が85%以上</p>
<p>◎確かな学力づくり *集中力、読むことに抵抗を無くす読書活動の充実 *家庭学習を中心とした学びの習慣づけの工夫</p>	<p>・読書タイム、読みきかせなどを中心とした読書活動の充実を図る。 ・家庭での学習習慣を身に付けさせる。</p>	<p>・学年の目標の本の冊数を読んだという児童が85%以上 ・家庭で自分で学習できたと答える児童が85%以上</p>

豊かな心

<p>◎一人一人が活躍できる集団づくり *自己肯定感、自己有用感を育む全校活動の工夫 *ポジティブ教育の推進</p>	<p>・委員会、学級を中心とした自主的な全校活動を実践する。清掃、学校行事などで児童一人一役活動を実践する。 ・心のお天気やいじめアンケート、アセスなどを活用し、児童の心の状況を把握する。 ・学級や学校のポジティブ教育を月1回以上行う。</p>	<p>・学校が楽しいと答える児童が90%以上</p>
<p>◎交流活動を生かしたふるさと学習づくり *地域の「もの・ひと・こと」を活用した地域の学びの計画的推進 *コミュニケーション力の育成</p>	<p>・ときわ地区を中心に越前町内の施設を活用した学習活動を企画し、地域の人と交流する。 ・小小連携での交流学習を昨年以上に増やす。</p>	<p>・校内外のみんで何かをするのは楽しいと答える児童が90%以上</p>

たくましい心身

<p>◎めあてをもち継続したチャレンジ・体力づくり *自己目標をもってねばり強く取り組む力の育成 *健康な心身の育成</p>	<p>・生活や学習の具体的な目標を設定させ、継続的に取り組む活動を実践する。 ・金谷走・なわとびを中心に、自己目標を立て体力づくりをはかる。</p>	<p>・設定した目標に継続して取り組んだと答える児童85%以上</p>
<p>◎生活習慣づくり *家庭と協力した望ましい生活習慣づくりの啓発</p>	<p>・げんきチェックを活用し、保健指導や委員会活動を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。 ・げんきチェック週間に1回、家族でメディアに触れないで過ごす日(校内ノーメディアデー)を設定する。</p>	<p>・毎月のふりかえりカードで健康的な生活ができたと答える児童、保護者が85%以上</p>

信頼される学校

<p>◎保護者、地域に信頼される学校づくり 家庭・地域と連携した学校づくり</p>	<p>・学校行事や日頃の教育活動の様子を、学校だよりや学年だよりに掲載し、毎月末に区長を通して地域の全家庭へ知らせる。 ・地域ボランティアの協力を得ながら、学校の教育活動のカリキュラムを組む。</p>
---	--

業務改善

- ・退片完了目標時刻の設定
- ・c4thなどの活用による業務の効率化
- ・終了時刻を明確にした会議
- ・研修の実施